

69 おおみや す わ じんじゃせい どうわにぐち  
大宮諏訪神社青銅鰐口



指 定 市有形文化財 昭和52年 3 月31日  
所在地 入 沢  
所有者 大宮諏訪神社



大宮諏訪神社所有の鰐口には「大宮英田神 永和二年九月日」との陰刻名があり、大きさは直径22.5cmの青銅製であるが片面だけである。永和2年(1376)は、北朝の年号である。

鰐口は、古くは金鼓と称し、人を集めるとき打ち鳴らしたものとされている。神社仏閣の堂前軒下につるして鳴らす金属具で、扁円中空で、横長の口がつき、布で編んだ紐を振って打ち鳴らすものである。

この神社には、青銅鰐口とともに鉄製鰐口が保存されているが、どのような理由からか、青銅製・鉄製ともに片面だけである。

なお、この神社には、英田神社と陰刻された銅製の鈴もあるが、製造紀年がないので、いつごろのものか不明である。